

# 対策を！ 藤代駅周辺

石井 めぐみ 議員

- 1 藤代駅前に放置自転車が目立つ。放置自転車は災害時に避難経路をふさぐというリスクがあり、また地域のイメージダウンにつながる。自転車放置整理区域の指定、放置自転車撲滅キャンペーンを含めた対策を。
- 2 たばこのポイ捨て対策にどのように取り組んでいるのか。また、柏市や我孫子市で路上喫煙の規制強化をしているが、市の考えは。
- 3 人口が増加している藤代駅周辺では軽犯罪が増加している。駅前交番設置の要望はしているが、交番設置までの間、龍ヶ崎市等のような防犯ステーションの設置について考えは。

# 総合計画による 市のまちづくりは？

飯島 悠介 議員

**問** どのようにまちづくりを行っていくかを踏まえ、市長の総合計画への思いを確認する。

**市長** 取手市が他の自治体間競争に負けないよう今日まで努めてきた。総合計画を現実のものにするには実施計画及びその検証、毎年の予算・具体的政策と合致させなければならぬ。

**問** 総合計画のような市がどこに進んでいくということに市民を巻き込めない今の状況は危ういと考えるが。

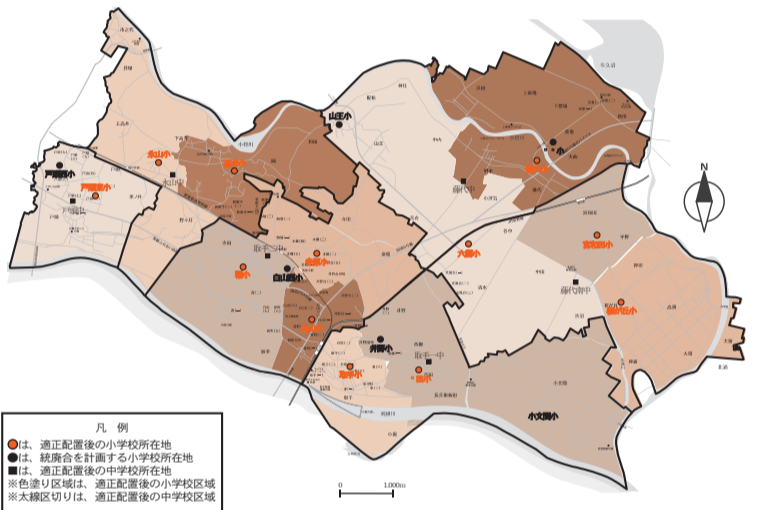
**答** 総合計画策定時に市民の参画を得ればよいという話ではない。一つのことをやり上げた喜びを共有するような現場の中に市民力・地域力の発現の場がある。

総合計画の中に地域をどうするか皆でつくる部分があり、使われる総合計画になるか、そこに課題がある。

**問** 限られた財源で、市民の力を引き出し、市民の住み心地、ふるさとへの愛着心を高めるために市はどんなまちに向かうのか。

**答** 取手市が選ばれる都市であるためにしっかり取り組んでいきたい。大事なことは、市民が参画する気持ちになれるかどうかということだと考える。

小中学校適正配置（計画）後の通学区域図



# どうする？ 小学校統廃合

金澤 克仁 議員

**問** 一中和東中の円滑な統合のための取り組みは。

**教育長** PTA、地域代表者、市政協力員に新学校づくりの協議をしていただいた。行政主導にしないことが円滑化につながっている。

**問** 中学校の適正規模は1学年4学級以上とされているが、中学校統廃合完了で適正規模は維持されるのか。

**教育総務課長** 永山中、戸頭中、藤代中が4学級を満たしていかないが、永山中と藤代中の区域内で区画整理事業が行われており、開発人口で今後4学級を満たす。

**問** 小学校の適正配置計画は21年作成時点のものだが、児童数の推計と実数に開きが出てきていると思う。計画の修正はあり得るのか。

**教育長** 見直しは排除しないが、今のところ5組11校の統合を進めていきたい。

**問** 小学校は地域のコミュニケーションの拠点となっているので、地域の分断にならない形を十分考えてほしい。小学校統廃合の今後の具体的なスケジュールは。

**答** 統合には準備期間が必要なので、各校の統合目標年度の2、3年前に地域に伺い説明をしていきたい。

# 値上げは必要？ 介護保険料

遠山 智恵子 議員

**問** 今回、介護保険料の改定時期で月額が500円増の4000円になる。値上げの根拠を問う。

**健康福祉部長** 人口推計等から今後3年間の介護給付費を算定し、そこから市の介護準備基金と県の財政安定化基金等の取り崩し分を引き65歳以上の人数で割ると月額4002円になる。

**問** 今年度も5億円の介護準備基金を見込んでいますが、値上げをしなくてももつのではないかと。県の財政安定化基金に託っておかなくてもいいのではないかと。

**答** 高齢者の増加等が要因で保険料が上がる。県の基金は安全弁の基金。県内の他市町村はこれを活用し決算を合わせている。しかし、使えば次の改定時期に保険料の急激な上昇を招く。

**問** 高齢者を守るため取手独自の減免制度を充実させてほしい。一般財源を充てても福祉は手厚くすべき。

**答** 隣町と制度が別というのが高齢者にとっていいのか。包括支援センターによるきめ細やかな対応が取手市の独自性。

# 地域経済の再生 加増 充子 議員

**問** 旧東急ビルの再開については何も進んでいない。駅周辺の衰退を招いた市の責任を問う。

**市長** 権利者によるビルのマネジメントが決定しなければ運営は難しい。市が再開までの絵を提示する性質のものではない。

**問** 旧東急ビルを初めとした空きビル再生のため固定

資産税減免が必要では。財政部長 税は公平・公正に賦課するもの。税法の基準の内容であれば考慮するが今回は当てはまらない。

**問** 地元中小企業優先の産業政策として、住宅耐震事業拡充について伺う。国の計画である平成27年住宅耐震化率90%までどのように持っていくのか。

**建設部長** 自然に約80%までは耐震化される。あとの10%については無料耐震診断等で粛々と進める。

**問** 住宅耐震化促進のため融資制度を拡充していくことが大事。リフォーム助成制度については。

**まちづくり振興部長** 一定の業種に対する支援と政策的な効果が成り立つのか、研究の課題がある。

# 議会情報はコチラ

- ひびきメール（登録手続きが必要）
- 取手市議会公式Twitter（ツイッター）



次の定例会は、  
6月7日(木曜日)  
開会の予定です。

※発行後の訂正等については、市ホームページにおいて訂正させていただきます。